

令和 5 年 9 月 2 9 日
小 牧 市 水 道 事 業

独立行政法人 国際協力機構（JICA）が発行する
「防災・復興ボンド（サステナビリティボンド）」への投資について

小牧市水道事業は、資産運用を通じた社会貢献と 2015 年に国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）達成への取組として、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」という。）が発行する「防災・復興ボンド（サステナビリティボンド）」への投資を実施いたしました。

JICA は、日本の政府開発援助（ODA）を一元的に実施する機関として開発途上国への持続的な社会経済発展の支援協力を担っており、JICA が発行する債券によって調達された資金は、JICA が実施する有償資金協力事業に充てられ、開発途上国の社会的課題や環境面の課題解決に貢献する出融資に活用されます。

また、JICA 債は、SDGs 達成に向けた民間資金動員ツールとして日本政府の施策である日本政府 SDGs 実施指針改定版（2019 年 12 月）にも位置付けられています。

今回の「防災・復興ボンド（サステナビリティボンド）」により調達された資金は、近年、自然災害が開発途上国をはじめ世界各国で頻発化し、被害が甚大化していることを踏まえ、開発途上国の防災および自然災害からの復興を支援する有償資金協力事業に充当されます。

今後も、小牧市水道事業はその公共性・公益性に鑑み、収益性の確保のみならず、持続可能な社会の形成に向けた社会的責務を果たしていきたいと考えております。